

令和7年度上越市立吉川小学校第2回学校運営協議会 議事録

- 1 日時 令和8年2月19日(木) 14:20~15:10
- 2 会場 吉川小学校 学習室1
- 3 出席者 細井一貞(会長)、村松直子、太田洋美、市村雅幸、重原節子、石野昭一、五十嵐一美、長谷川和彦(校長)、横山毅彦(教頭・事務局) 9名

4 協議内容

- (1) 令和7年度の教育活動に係る情報共有と学校評価の報告
- (2) 令和8年度の吉川小の教育について
- (3) 夢・志チャレンジスクール事業の報告
- (4) 意見交換

○上越市小学校体育連盟の体育行事がなくなった。学校では課外活動もなくなり、子どもの体力にしわ寄せがあるのではないかと心配である。社会体育で運動を習っている子はよいが、習っていない子の体力低下が心配である。体力の個人差がますます大きくなるのではないかと心配である。学校では、年間を通じた体力づくりを行ってほしい。例えば、体力づくりにつながる児童会行事を行ったり、体育の授業で子どもがめあてを立て、継続して取り組んだりするような工夫をしてほしい。ある学校では、なわとびのジャンピングボードを常時設置して、休み時間に子どもが自由に縄跳びをしに集まっている。運動に親しむ環境づくりも行なってほしい。

→健やかな体部を中心に話し合い、子どもが運動したくなる環境づくりや授業づくりを検討していく。

○吉川小では、ヤングケアラーの児童がいるかどうか、盗撮防止の取組はどうなっているのか。
→ヤングケアラーの調査は毎年行っている。今年度も0で報告している。盗撮の防止については、文科省から通知があり、個人のスマホは使用しない。盗撮防止のため、校内の安全点検も兼ねて管理職が放課後に校内巡視をしている。

○ICTのデータ管理はどうなっているか、チェックしているのか。

→児童は、「classroom」というアプリを使用している。児童用タブレットについては、校内で使用状況をチェックできるようになっている。家庭にある端末の使用状況はチェックできない。

○小中連携の姿は、報告のとおりでよいか。

→報告のとおり、あいさつ運動やいじめ見逃しゼロスクール集会、小中合同学校保健委員会で交流している。職員も授業参観による交流を行っている。

○修学旅行先で食物アレルギーのヒヤリハット事案があった記事を見た。吉川小では、修学旅行に当たってどんな配慮をしているのか。

→食事に食物アレルギーの成分が含まれていないか、旅行業社や飲食店に問い合わせ確認している。食品成分表を取り寄せ、学校でも保護者と共に安全確認を行っている。

○夢・志チャレンジスクールでは、地域の人材も活用しながらふるさとに学ぶ活動を続けてほしい。ふるさと学習での3年生の発表は、非常に良かった。地域のことを調べてまとめ、それを発表することで財産になる。今後も発表の場を計画してほしい。青少年育成会議も学校の活動をサポートしていきたい。

→今後もふるさとに学ぶ活動を続けていく。発表の機会も含めて活動を計画していく。